



Lion House

Thank you SADAMASASHI

ハウスオブジョイ男子棟改築プロジェクト

2016.05.09

作成者：澤村 信哉（ハウスオブジョイ副院長）

2015年12月、一般財団法人「風に立つライオン基金」様より、児童養護施設ハウスオブジョイに100万円の支援金をいただきました。そのお金を使って男子棟の改築を行うことにしました。1999年に建てられた男子棟は老朽化が進んでおり、特に何本かの柱はシロアリによって大きな損傷がありました。



はじめは土台だけを残して建屋はすべて建て替える予定でしたが、2016年1月に日本の建築業者の方が来てくださり、屋根とそれを支える梁はまだしっかりしており、壊すのはもったいない、との助言をいただきました。その助言を元に地元のベテラン大工、ダニーロさんと相談しながら、どの柱を入れ替え、どの梁は残し、どこをどう改築すれば100万円の予算内でなるべくよい改築ができるかを考えました。



協議の結果、屋根と梁は損傷がひどい場所以外は残す、窓枠は9割がた交換、壁は全て張り替え、柱は12本のうち、11本をコンクリートの柱に入れ替えることを決定しました。そして、多くのこどもが夏休みで実家や親戚の家に一時的に「里帰り」する4月から工事を始めることにしました。その時点でのかかるお金の見積りは、材料費約40万円、人件費約20万円、水道、電気系統の工事に20万円、予備として20万円、でした。

そして4月8日から作業が始まりました。地元の大工さん4名と、手伝いとして地元の若者2名を雇ったの大プロジェクトです。すべての作業が重機や電動工具を使わない、まさに職人の手作業です。ノコギリで木を切り、自作の工具で鉄心を曲げ、スコップでセメントをこね、作業を進めました。



2週間で柱の入れ替えが終わり、次の1週間は壁と天井の張り替え、次の1週間は窓の設置と塗装、そして最後の1週間は電気系統と水道の導入をしたうえで、余った木材でベッドや棚を作ってもらい、5週間で男子棟の改築は完了しました。こどもたちも大満足です！



最終的にかかった費用は、以下の通りです。

材料費：175,206 ペソ≒398,908 円

人件費：76,600 ペソ≒174,402 円

工具レンタル：12,484 ペソ≒28,423 円

電気工事：17,605 ペソ≒40,083 円

合計：281,895 ペソ≒641,818 円

屋根と梁を残す選択をしたことで、材料費と人件費を抑えることができました。また、電気工事はハウスオブジョイのスタッフがほとんど自分でやってしまったので、ケーブルなどの実費以外はほとんどかかりませんでした。

いただいた 100 万円のうちの残りのお金、358,182 円は、1～2 年後の屋根の葺き替えの費用（約 3 万円）と、これも 1～2 年後のトイレの汲み取り費用（約 5 万円）をプールしておき、さらに残ったぶんの約 27 万円は、ハウスオブジョイの運営費として、ここで暮らす子どもたちの生活費に充てさせていただきます。20 人のこどもの 1 週間の生活費が約 3 万円なので、9 週間、約 2 ヶ月分に相当します。

最後になりますが、「風に立つライオン基金」への感謝の気持ちをこめて、この男子棟を「ライオンハウス (Lion House)」と命名させていただきました。絵の得意なスタッフが、見様見真似で風に立つライオン基金のロゴも入れました。



本当にありがとうございました。ぜひ一度足をお運びになり、実際にこの「ライオンハウス」で暮らす子どもたちの笑顔を見ていただきたく思います。いつかお会いできることを、子どもたちと一緒に楽しみにしております！

※改築プロジェクトの動画も Youtube にアップしてあります。ご支援いただいたみなさんに見ていただければ幸いです。

<https://youtu.be/vSNOUJKDJQk>